

2025年度

併修のしおり

(地域高2留学)

2025年度の併修制度運用について、基本的な考え方や実施方法を『併修のしおり』としてまとめました。御校において併修生指導の指針となるものとしてご活用ください。

NHK学園高等学校

目 次

教育課程表	3
併修生の学習のあり方	4
1. スクーリング	4
2. 試験	5
3. レポート	5
4. 放送視聴	6
5. 単位認定	6
6. その他	7
【備考】	9

2025年度 教育課程表

教科	科目	グループと単位数			レポート 通数	放送視聴
		A	B	C		
国 語	現代の国語	②			6	テレビ
	言語文化	③			9	ラジオ
	論理国語			4	1 2	ラジオ
	文学国語		4D		1 2	ラジオ
	古典探究			4H	1 2	ラジオ
地理歴史	地理総合	②			6	テレビ
	歴史総合	②			6	テレビ
	日本史探究		3E		9	ラジオ
	世界史探究			4G	1 2	テレビ
公 民	公共		②		6	テレビ
	倫理			3J	9	ラジオ
数 学	数学Ⅰ入門	2A			7	テレビ
	数学Ⅰ	③A			9	テレビ
	数学Ⅱ			4H	1 2	ラジオ
	数学A		2F		6	テレビ
	実用数学			2I	6	なし
理 科	科学と人間生活	2			6	テレビ
	物理基礎			3J	9	テレビ
	化学基礎		3E		9	テレビ
	生物基礎		3		9	テレビ
	地学基礎			2I	6	テレビ
保健体育	体育1	②			2	ラジオ
	体育2		②		2	ラジオ
	体育3			③	3	ラジオ
	保健		②		6	ラジオ
芸 術	音楽Ⅰ	2B			6	ラジオ
	美術Ⅰ	2B			6	テレビ
	書道Ⅰ	2B			6	テレビ
英 語	英語入門	2C			6	テレビ
	英語コミュニケーションⅠ	③C			9	テレビ
	英語コミュニケーションⅡ		4D		1 2	ラジオ
	英語コミュニケーションⅢ			4G	1 2	ラジオ
家 庭	家庭総合		④		9	テレビ
情 報	情報Ⅰ		③		6	テレビ
商 業	ビジネス基礎		2F		6	テレビ
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間(A)	①			2	テレビ
	総合的な探究の時間(B)		①		2	テレビ
	総合的な探究の時間(C)			②	2	テレビ

- ・表の各科目の数字はNHK学園で開講している各科目の単位数を示します。
- ・○囲みの単位数の表示科目は必修科目です。
- ・単位数の右側についているアルファベットはNHK学園内でのペア科目を意味するものです。同じペアの科目を両方履修する場合にはスクーリングや試験の受け方に注意が必要です。
- ・A～CのグループはNHK学園内での年次を意味するものです。併修生の場合は特に気にかかる必要はありません。

併修生の学習のあり方

本校は、生徒の自学自習を基礎に、スクーリング、レポート、試験及び放送視聴を通して学習を進めていきます。一方で、併修生は御校においての学習も同時に進めています。通信教育の学習と御校での学習がそれぞれ有効に機能することで、一層の教育効果が期待できます。そのために、本学園と御校とが、密接に連絡を取り合って、双方の教育指導の状況を十分に考慮しながら、生徒への対応にあたる必要があると考えています。

この点に改めてご留意いただき、個々の併修生の学習実態に即して、御校での学習の進捗とあわせ、NHK学園でのレポート提出期限や面接指導への出席につきましても、計画的な指導をしていただきますようお願い申し上げます。

1. スクーリング

(1) 出席の仕方

NHK学園高等学校のスクーリング会場でスクーリングを受けるようにご指導ください。
各スクーリング会場の時間割は別途お送りいたします。

(2) 出席すべき時間数

単位認定に向けて必要なのは下記の表の「必要」という欄に記載されている時間数です。

(3) その他

実施後の処理はNHK学園高等学校で行います。書類の提出等は必要ありません。

各科目 スクーリング時間数一覧

	科 目	標準	必要		科 目	標準	必要		科 目	標準	必要
A グ ル ー プ	現代の国語	3	1	B グ ル ー プ	D 文学国語	3	1	C グ ル ー プ	論理国語	3	1
	言語文化	3	1		E 日本史探究	3	1		H 古典探究	3	1
	地理総合	3	1		公共	3	1		G 世界史探究	3	1
	歴史総合	3	1		F 数学A	2	1		J 倫理	3	1
	A 数学Ⅰ入門	3	1		E 化学基礎	5	3		H 数学Ⅱ	3	1
	A 数学Ⅰ	3	1		生物基礎	5	3		I 実用数学	3	1
	科学と人間生活	4	2		体育2	4	2		J 物理基礎	5	3
	体育1	4	2		保健	2	1		I 地学基礎	4	2
	B 音楽Ⅰ	4	2		D 英語コミュニケーションⅡ	7	4		体育3	6	3
	B 美術Ⅰ	4	2		家庭総合	4	2		G コミュニケーション英語Ⅲ	7	4
	B 書道Ⅰ	4	2		情報Ⅰ	4	2				
	C 英語入門	4	2		F ビジネス基礎	3	1				
	C 英語コミュニケーションⅠ	5	3								
	総合的な探究の時間A	2	1		総合的な探究の時間B	2	1		総合的な探究の時間C	2	1

※体育においては一日の受講時間を2時間以内とします。

2. 試 験

(1) 受験の仕方

各会場の時間割に従い登校、受験するようご指導ください。各会場の時間割は別途お送りいたします。

中間到達度チェックは、9 月オンラインにて自宅で受験します。年度末試験は各会場にて受験します。

(2) その他

実施後の処理はNHK学園高等学校で行います。書類の提出等は必要ありません。また、試験成績の連絡は本校で採点のうえ返送します。

2025年度 各科目 試験実施一覧

	科 目	9 月	年度末		科 目	9 月	年度末		科 目	9 月	年度末
A グ ル ー プ	現代の国語	○	○	B グ ル ー プ	D 文学国語	○	○	C グ ル ー プ	論理国語	○	○
	言語文化	○	○		E 日本史探究	○	○		H 古典探究	○	○
	歴史総合	○	○		公共	○	○		G 世界史探究	○	○
	地理総合	○	○		F 数学 A	○	○		J 倫理	○	○
	A 数学 I 入門		○		E 化学基礎	○	○		H 数学 II	○	○
	A 数学 I	○	○		生物基礎	○	○		I 実用数学		○
	科学と人間生活	○	○		体育 2		○		J 物理基礎	○	○
	体育 1		○		保健	○	○		I 地学基礎	○	○
	B 音楽 I				D 英語 C II	○	○		体育 3		○
	B 美術 I				家庭総合	○	○		G 英語 C III	○	○
	B 書道 I				情報 I		○		総合的な探究の時間 (C)		
	C 英語入門		○		F ビジネス基礎	○	○				
	C 英語 C I	○	○		総合的な探究の時間 (B)						
	総合的な探究の時間 (A)										

(注 1) 体育の実技試験は、後期 1 回行います。

(注 2) 音楽 I、美術 I、書道 I の試験は行いません。レポートで評価します。

(注 3) 中間到達度チェックは、9 月に自宅での受験となります。

3. レポート

芸術科目（美術 I・書道 I）以外は、すべてネットレポートとなります。

ネット学習に必要な学習環境

- ・対応 OS : Windows (10 以降) Mac OS V10.13 以降
- ・対応ブラウザ : Google chrome (Windows10 以降の OS または Android で動作)
Safari (Mac OS XV10.13 以降 または最新 iOS・iPadOS で動作)
- ・一般的な動画配信サービスの動画再生に支障のない通信環境
- ・A4 印刷可能なプリンターがあると便利です。

(1) レポートは一般生と同様のものを使用します。

(2) レポートの指導・提出

レポートは生徒の日常の学習指針であるとともに、各科目の重点指導事項でもあります。

生徒が自分で学習します。提出期日を守って添削依頼（レポート提出）をするようご指導ください。提出期限の30日前から添削依頼することが可能です。

ネット学習のトラブルが生じた場合は、併修生であることを伝え、NHK 学園高校「ヘルプデスク」係に連絡をください。なお、9 月の中間到達度チェック・年度末試験の試験範囲が復習できるよう提出確認をお願いします。特に冬休み中のレポートは、1 月下旬からの認定日程に間に合うようご注意ください。

4. 放 送 視 聴

本学園はNHK高校講座を利用しての学習を基本としています。本校の学習計画は全て放送計画を中心に組み立てられ、生徒には放送視聴が義務づけられています。

併修生も放送視聴の原則に基づき、スクーリング時間数が減免されております。NHK高校講座を視聴するようご指導ください。

(1) 放送視聴の科目

全履修科目を視聴するようご指導ください。

(2) 視聴方法

レポートに取り組む画面から番組を視聴します。この方法で視聴をしないとレポート問題に取り組むことができません。また、テレビやラジオの本放送やNHK高校講座のHPからストリーミング配信で視聴することもできます。校内に放送視聴ができる環境がありますと、生徒の学習進捗が把握できるとともに、学習をサポートできます。

放送日と日常授業との関連、視聴時間割の作成、その他放送視聴については、御校の実情、実態に即した視聴方法をお考えください。

(3) 放送視聴の報告

各科目のレポートにあります放送視聴票・放送視聴課題には、放送の直接視聴、間接視聴を問わず、生徒の生の声を自分のことばで記入するようご指導ください。

(4) 放送のない科目

放送のない科目は、学習書や学習ノートより理解を深めます。

5. 単 位 認 定

生徒が1年間行ったスクーリング、レポート、試験および中間到達度チェック、放送視聴（体育は体育実技評価も含めて）の総合評価により、本校で単位の認定をいたします。単位認定後に「単位認定証」を送付します。こちらが公式な「単位認定証」となります。また、必要に応じ別途、「単位修得成績証明書」をお送りいたしますが、こちらは発行に際し所定の手続きをお取りいただきます。また発行に際し手数料が必要となります。発行請求の際は、東京本校併修生担当教員までご連絡ください。発行に必要な書式をお送りします。

単位認定日程（予定）

1 次認定	2 月中旬
2 次認定	1 次認定後 3 月中旬まで

6. そ の 他

(1) 併修生担当教員

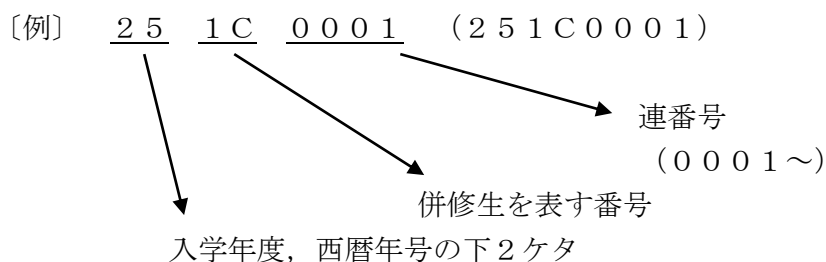
本校では併修生担当教員を定め、御校との連絡を密にし、生徒の継続率向上および学習活動が円滑に行われるように努めます。

本年度の本校の併修生担当教員は、次のとおりです。

担当管理職	副校長 八木沢正統
担当教員	國府功太 石田美彦 鈴木祐

※ 円滑な学校間の連絡伝達等をはかるため、併修校におきましても併修担当者（窓口）を置いていただけますようお願いいたします。

(2) 生徒番号について



(3) 生徒異動

年度途中に生徒の異動（退学、転出等）があった場合には、その都度すみやかにご連絡ください。

(4) 生徒への指導・連絡

- ・ 併修生への指導は、在籍する学校にて、本校（NHK 学園）からの連絡内容に基づき行ってください。本校から直接生徒へ連絡をとり指導を行うことはありません。
- ・ 学習上の質問等は併修校の担当教諭より、本校にいただけますようお願いいたします。近年、併修生より直接問合せ等が本校に寄せられることが増えています。よろしくお願いいたします。

2025年度 使用教科書

教科	科目名	出版社	教科書名	教科書番号
国語	現代の国語	東京書籍	新編現代の国語	現国 701
	言語文化	東京書籍	新編言語文化	言文 701
	文学国語	第一学習社	高等学校標準文学国語	文国 710
	論理国語	東京書籍	新編論理国語	論国701
	古典探究	第一学習社	高等学校標準古典探究	古探720
地理歴史	歴史総合	東京書籍	新選歴史総合	歴総 701
	地理総合	帝国書院	高等学校新地理総合	地総 703
	地理総合	帝国書院	新詳高等地図	地図 702
	日本史探究	東京書籍	日本史探究	日探 701
	世界史探究	東京書籍	世界史探究	世探701
公民	公共	東京書籍	公共	公共 701
	倫理	東京書籍	倫理	倫理701
数学	数学I入門	全国私立通信制 高等学校協会編	数学I入門	
	数学I	東京書籍	新数学I	数Ⅰ704
	数学I	東京書籍	新数学I 解答編	数Ⅰ705
	数学Ⅱ	東京書籍	新数学Ⅱ	数Ⅱ717
	数学Ⅱ	東京書籍	新数学Ⅱ 解答編	数Ⅱ718
	数学A	東京書籍	新数学A	数A704
	数学A	東京書籍	新数学A 解答編	数A705
	実用数学	NHK学園編	実用数学	
理科	科学と人間生活	東京書籍	科学と人間生活	科人 701
	物理基礎	東京書籍	新編物理基礎	物基702
	化学基礎	東京書籍	新編化学基礎	化基 702
	生物基礎	東京書籍	新編生物基礎	生基 702
	地学基礎	東京書籍	地学基礎	地基701
保健体育	体育	大修館	現代高等保健体育	保体 701
芸術	音楽I	教育出版	音楽I TUtti 十	音Ⅰ701
	美術I	日本文教	高校生の美術Ⅰ	美Ⅰ702
	書道I	東京書籍	書道I	書Ⅰ701
外国語	英語入門	NHK学園編	英語入門	
	英語コミュニケーションⅠ	東京書籍	ALL Aboard! EngLish Communication Ⅰ	CⅠ701
	英語コミュニケーションⅡ	東京書籍	ALL Aboard! EngLish Communication Ⅱ	CⅡ701
	英語コミュニケーションⅢ	東京書籍	ALL Aboard! EngLish Communication Ⅲ	CⅢ701
家庭	家庭総合	東京書籍	家庭総合 自立・共生・創造	家総 701
情報	情報Ⅰ	東京書籍	新編情報Ⅰ	情Ⅰ701
商業	ビジネス基礎	実教出版	ビジネス基礎	商業 701

【 備 考 】

A. 手続きについて

○受付期間

3月1日～5月末日（6月以降個々相談対応）

○出願

複数の志願者がいる場合、取りまとめて一括で出願をしてください。

○科目履修生（併修）志願書・在学証明について

1. 願書記入上の注意

①「住所」「電話番号」は生徒の住所電話番号を記入する。

②「保護者または保証人の署名」の記入は保護者または保証人が行う。

③②以外の記入については生徒自身の自筆で丁寧に記入する。

2. 在学証明書在籍校の用紙に記載。発行が3ヶ月以内のもので、「開封厳禁」とする。

B. 業務の流れ

○在籍校 ⇒⇒⇒⇒⇒ NHK学園 学務部

・科目履修生（併修）志願書、併修依頼について、在学証明書の提出

○NHK学園 学務部 ⇒⇒⇒⇒⇒ 留学先校

・併修許可通知、科目履修生証の送付

・学費等請求書の送付

・教材（教科書、学習書）の送付・・・生徒用